◆コミュニティ・スクール推進事業研修会（コミュニティ・スクール推進フォーラム 兼 コミュニティ・スクール連絡協議会）

１　目　　的　　学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の有効的な取組に係る講演やトークセッションをとおして、県立学校や市町における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資すること

２　主　　催　滋賀県教育委員会

３　対　　象　（主に県立学校関係者対象）

（１）県立高等学校教職員、県立特別支援学校教職員
（２）学校運営協議会（コミュニティ・スクール）関係者・学校評議員
（３）各市町担当職員

４　日時・会場・参加者数

〇日時　　：令和２年10月30日（金）　13:30～16:40
〇会場　　：滋賀県庁東館７階大会議室
〇参加者数：51名

５　日　　程

□講　演
　演　題：「コミュニティ・スクールを生かした学校づくり」
　講　師：増渕　広美　氏　　文部科学省ＣＳマイスター
　　　　　　　　　　　　　　前神奈川県立市ケ尾高等学校長

□パネルディスカッション［コミュニティ・スクール連絡協議会］
　テーマ：「県立学校における地域と学校の連携・協働について」
　　〇コーディネーター：増渕　広美　氏
　　〇パネリスト：県立学校ＣＳ導入校関係者３名
　　　・安藤　清代　氏：草津養護学校 学校運営協議会委員（元 草津養護学校長）
　　　・中澤　成行　氏：能登川高等学校長
　　　・山田　　薫　氏：滋賀県ＣＳアドバイザー（前 伊香高等学校長）

６　概　　要

・県立の高等学校や特別支援学校での取組から学んでいただくために、講師の先生から神奈川県立学校におけるコミュニティ・スクール導入について、また、導入後に取り組んでこられた実践などをお話しいただき、参加者の学びを深めることができた。
・滋賀県立学校においてコミュニティ・スクール導入に携わってこられたパネリストの皆様から、導入の経緯やご苦労、成果などについて率直な考え・思いをお伝えいただくことにより、参加者のＣＳ導入に係る多くの疑問・不安に答えていただく機会とすることができた。

７．参加者のアンケートより

・コミュニティ・スクールを導入することで、学校が豊かになると感じられ、希望を感じることができたのはよかった。
・パネルディスカッションにより成果がわかり、導入すべきであるなぁと思えるようになってきた。学校の課題を解決するための一つの方法としてＣＳを導入することを今後考えていかなければならないと感じた。
・現場の先生方、また主導者として苦労を頂いた校長先生方の話であったので、大変重みがあった。